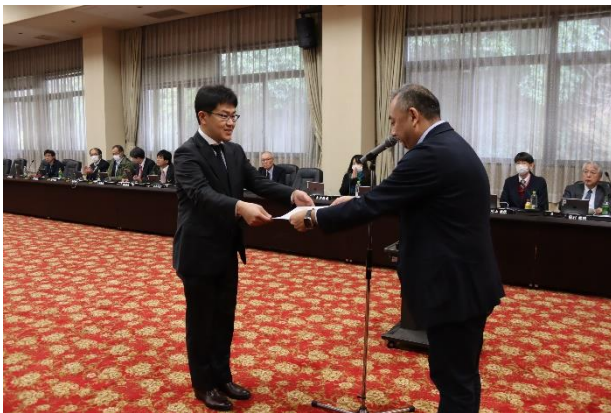


## 第16回「良順教育賞」の授与式が執り行われました

令和6年3月13日（水）に第16回「良順教育賞」の授与式が本学医学部ポンペ会館で執り行われました。

ポンペと共に長崎大学医学部の創立者である松本良順の名を冠したこの賞は、医学教育で優れた実績を有する教員等に対し、その功績をたたえるもので、平成20年度に設けられ、今回が16回目の授与式となります。

今回受賞された、長崎大学 生命医科学域（離島・へき地医療学講座）野中 文陽 助教は2018年に医歯薬学総合研究科離島・へき地医療学講座の助教就任後、長崎県五島中央病院内の離島医療研究所に常駐し、県内全域の離島実習教育を円滑に運営されており、医学科学生のみならず歯学部学生、薬学部学生、保健学科学生、さらには他大学の医学部生に対する受入体制と教育体制を構築されました。また、COVID-19パンデミックでは、長崎県内広域にわたる離島地域の保健・医療・福祉・介護関係機関や多職種に積極的に働きかけ、オンラインによる地域医療教育体制を構築することによって学外地域医療実習の危機を乗り越え、その教育手法と成果は学内外から高く評価されており、地域医療教育のニューノーマルとして全国的な教育モデルとなるなど、教育において多大な貢献を果たしてきました。



医学部長から表彰状を授与される野中助教



受賞の挨拶を述べる野中助教



（左から）

推薦者：永田 康浩 教授

花束贈呈者：井上 まゆ子 様

受賞者：野中 文陽 助教

推薦者：川上 純 教授

推薦者：前田 隆浩 教授